

作成日 2019/01/30
改訂日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 モノタロウ シャーシーブラック(水性)14kg
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
整理番号 M190130

2. 危険有害性の要約 GHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分4
急性毒性(経皮) 区分3
急性毒性(吸入:蒸気) 区分3
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2A
発がん性 区分1A
生殖毒性 区分1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(肝臓 血液系 呼吸器 視覚器 腎臓 全身毒性 中枢神経系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(肝臓)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(血液系 呼吸器 視覚器 中枢神経系)
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H302 飲み込むと有害
H311+H331 皮膚に接触したり、吸入すると有毒
H319 強い眼刺激
H350 発がんのおそれ
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H371 肝臓、血液系、呼吸器、視覚器、腎臓、全身毒性、中枢神経系の障害のおそれ
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による血液系、呼吸器、視覚器、中枢神経系の障害のおそれ

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)

応急措置	<p>保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)</p> <p>飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。(P301+P312)</p> <p>皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)</p> <p>吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)</p> <p>眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)</p> <p>ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)</p> <p>医師に連絡すること。(P311)</p> <p>気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)</p> <p>口をすすぐこと。(P330)</p> <p>眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)</p> <p>汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P361+P364)</p>
保管	<p>容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233)</p>
廃棄	<p>施錠して保管すること。(P405)</p> <p>内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)</p>

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水	50～60%	不明	不明	不明	7732-18-5
スチレン・アクリル酸エステル共重合体	20～30%	不明	6-247	不明	26873-77-8
エタノール	5～10%	CH ₃ CH ₂ OH	(2)-202	既存	64-17-5
イソプロピルアルコール	1%未満	CH ₃ CH(OH)CH ₃	(2)-207	既存	67-63-0
1-プロパノール	1%未満	CH ₃ CH ₂ CH ₂ OH	(2)-207	既存	71-23-8
エチレングリコールモノブチルエーテル	2～5%	不明	(2)-407,(2)-2424,(7)-	既存	111-76-2
メタノール	1%未満	CH ₃ OH	(2)-201	既存	67-56-1
カーボンブラック	1%未満	不明	不明	不明	1333-86-4

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

吸入をして気分の悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分の戻らない時は、医師の診断を受けること。

呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。

呼吸が弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合
吸入の影響が遅れて現れることがある。
上記症状が出た場合、直ちに医師の診断を受けること
直ちに水で洗い流し、石鹼で液が付着したところをよく洗うこと。
直ちに、汚染された衣類をすべて取り除くこと。皮膚を流水で洗うこと。
気分が悪くなった場合は、医師の診断を受けること。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯してから使用すること。

眼に入った場合
清浄な水で最低15分間目を洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
激しい痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受ける事。
洗浄を始めるのが遅れたり、不十分であると不可逆的な眼の障害を生ずるおそれがある。

飲み込んだ場合
直ちに水で口の中を洗浄する。
直ちに医師の診断を受けること。
無理に吐かせないこと。
子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

特有の危険有害性

特有の消火方法

この製品自体は、燃焼しない。

特になし

周辺火災が起きた際は、下記のことには注意すること。

消火作業は、可能な限り風上から行なう。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす化学物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。

作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、蒸気、ガスを吸入しないようにする。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。

回収、中和

少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取り、密閉できる空容器に回収する。
多量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。
漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
ミスト、蒸気を吸入しないこと。
取り扱い中は、飲食、喫煙を行ってはならない。
取り扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全取扱注意事項
安全な保管条件

容器はその都度、密栓する。
製品記載の保管条件を読み、適切に保管すること。
施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

特になし。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
イソプロピルアルコール	200ppm	【最大許容濃度】 400ppm(980mg/m3)	TWA 200 ppm, STEL 400 ppm
エチレングリコールモノブチルエーテル	25ppm	【最大暫定値】 20ppm(97mg/m3)	TWA 20 ppm, STEL -
メタノール	200ppm	200ppm(260mg/m3)(皮)	TWA 200 ppm, STEL 250 ppm (Skin)
エタノール	未設定	未設定	TWA -, STEL 1000 ppm
1-プロパノール	未設定	未設定	TWA 100 ppm, STEL -
カーボンブラック	未設定	【粉塵許容濃度】(第2種粉塵) 吸入性粉塵 1mg/m3 総粉塵 4mg/m3	TWA 3 mg/m3(I), STEL -
水	未設定	未設定	未設定
スチレン・アクリル酸エステル共重合体	未設定	未設定	未設定

設備対策

蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
屋内で使用する場合は局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

保護マスクを着用する。必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用する。

手の保護具	保護手袋、必要に応じて耐溶剤性手袋、ビニール手袋等を着用すること。 必要に応じて保護衣、保護前掛け等を着用する。
眼の保護具	保護眼鏡(普通眼鏡型)、必要に応じて、ゴーグル型、保護面等を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	保護具等は定期的に点検を行う。

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状态	液体
	形状	液体
	色	黒色不透明液体
臭い		データなし
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		8.8
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		引火せず
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限	データなし
	上限	データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(密度)		1.00(g/cm ³)
溶解度		水に分散する
n-オクタノール／水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の手扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	経口	急性毒性推定値が1578.6983761mg/kgのため区分4に該当。
	経皮	急性毒性推定値が783.3827893mg/kgのため区分3に該当。
	吸入	(気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) 急性毒性推定値が1525.6411636ppmのため区分3に該当。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	10×(眼区分1+皮膚区分1)の成分合計が10%のため、区分2Aに該当。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	(呼吸器感作性) データ不足のため分類できない。 (皮膚感作性) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
生殖細胞変異原性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
発がん性 生殖毒性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。 区分1Aの成分が10%のため、区分1Aに該当。 (生殖毒性) 区分1Aの成分が10%のため、区分1Aに該当。 ※区分2は1%含まれる。 ※区分2は1%含まれる。 (生殖毒性・授乳影響)
特定標的臓器毒性(単回 ばく露)	データ不足のため分類できない。 区分1(全身毒性)の成分が1%のため、区分2(全身毒性)に該当。 区分1(中枢神経系)の成分が1%のため、区分2(中枢神経系)に該当。 区分1(肝臓)の成分が5%のため、区分2(肝臓)に該当。 区分1(血液系)の成分が5%のため、区分2(血液系)に該当。 区分1(呼吸器)の成分が5%のため、区分2(呼吸器)に該当。 区分1(腎臓)の成分が5%のため、区分2(腎臓)に該当。
特定標的臓器毒性(反復 ばく露)	区分1(視覚器)の成分が1%のため、区分2(視覚器)に該当。 区分1(血液系)の成分が5%のため、区分2(血液系)に該当。 区分1(視覚器)の成分が1%のため、区分2(視覚器)に該当。 区分1(中枢神経系)の成分が1%のため、区分2(中枢神経系)に該当。 区分1(肝臓)の成分が10%のため、区分1(肝臓)に該当。 区分2(中枢神経系)の成分が10%のため、区分2(中枢神経系)に該当。 区分1(呼吸器)の成分が1%のため、区分2(呼吸器)に該当。
吸引性呼吸器有害性	※区分2(肝臓)は1%含まれる。 ※区分2(呼吸器)は1%含まれる。 ※区分2(脾臓)は1%含まれる。 動粘性率が不明のため、分類できないに該当。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。
水生環境有害性(長期間)	(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

交換廃液、内容物/容器の廃棄の際は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合はそこに業務委託して処理をすること。

汚染容器及び包装

容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報	非該当
Marine Pollutant	Not applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code.	Not applicable

国内規制

航空規制情報	非該当
陸上規制	非該当
海上規制情報	非該当
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報	非該当
	なし

15. 適用法令
化審法
労働安全衛生法

優先評価化学物質(法第2条第5項)
第2種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号)
作業環境評価基準(法第65条の2第1項)
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

大気汚染防止法

プロピルアルコール(政令番号:494)(5%未満)
エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル(政令番号:79)(1%-10%)
メタノール(政令番号:560)(5%未満)
エタノール(政令番号:61)(1%-10%)
カーボンブラック(政令番号:130)(5%未満)
特定物質(法第17条第1項、政令第10条)
揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)

海洋汚染防止法	油性混合物(施行規則第2条の2) 有害でない物質(施行令別表第1の2) 有害液体物質(X類物質)・油性混合物(施行令別表第1第1号イ(81))
外国為替及び外国貿易法	有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1) 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1) 輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」
特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)	輸出貿易管理令別表第1の16の項 輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認) 廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
じん肺法	法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業
16. その他の情報 参考文献	製造元メーカー提供資料 NITE GHS分類結果一覧 JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス 日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。
その他	危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。